

大磯町事業仕分けの結果

		担当課	子育て介護課	担当班	高齢介護班
班一番号	予算事業名		詳細事業名		
1-2	敬老事業		敬老事業(敬老祝商品券)		
評価結果		コメント(仕分けの理由・今後に向けての提案等)			
1 不要					
2 民間					
3 大磯町 (要改善)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとしたたかに予算減を考える必要がある。具体的には、お祝いなら金額を低く、一律に。80歳を削る。更に、家族や本人の介護という側面なら、別の事業に振り替える。 ・平均寿命までの支給は不要と思う。(代替りの福祉事業を展開し、当該事業を縮小) 民生委員の渡し方にもっと配慮を⇒コミュニケーションの充実。 ・敬老の意なら、全員一律でも良いし、介護者のためなら別の理論が必要。商品券の使われる目的が不明。 ・商業振興策なら別の事業建てをして、明確にしなければいけない。 ・お金を出すことは不要。ゼロから見直すこと。他の手段でも敬老の意は表せる。 ・趣旨・目的に妥当性なし、達成手段として不適當。でも、地域の商品券という視点は良い。事業の対象者は当人オンリーか。隠れたサービスの対象者(商店のことではない)はないか。 ・祝の事業はそもそもコミュニティ単位でできるはず。そこに視点を置き、祝の本質を表す努力をする。 ・目的に対する成果が説明できていない。 ・高齢者の長寿を祝うことは金を配ることなのか、根本的な検討が必要。 ・行政としての優先順位を考えた予算計上が必要。 			
4 大磯町 (現行どおり)					
最終判定	大磯町 (要改善)	そもそも「敬老の意」をどう自治体として意を表すか。ビジョンが見えない。目的が敬老か、地域振興か明確にすべき。			